

The Sakato News

DEMOLITION SITE REPORT Vol.201101

Edited and Published by SAKATO CO.,LTD.

314, Chigusacho, Hanamigawa-ku, Chiba 262-0012 tel.043-286-5400 fax.043-286-4187 info@sakato.jp www.sakato.jp

PACLER MAGNUM800

パクラ マグナム800

(6—13トンクラス用 小割機)

「6トンと13トン兼用のメリットを活かす！
狭小の揚重解体現場での小割作業を効率化！」



THE NEXT WILL BE THE BEST

SAKATO

「6トンと13トン兼用のメリットを活かした狭小の揚重現場の小割作業の効率化」

会社名 五光開発 株式会社
 所在地 千葉県市原市／総合解体業
 代表者 代表取締役 小山 隆久様
 使用機種 パクラ マグナム800 (6トンと12トン兼用機種)

「請負単価は低くとも、高い安全性と作業効率のいい仕事で信頼を！」をモットーに！

当社は平成8年に小山解体として兄弟3人を中心に、20トンクラス中古バックホー1台を買って創業し、木造からRCまで何でもこなせる総合解体業者になることを目指して団結してやってきました。平成15年には五光開発に社名を一新し、ミニから35トンクラスまで重機もラインナップができるようになりました。ここ数年の景気低迷に伴って解体工事の低単価が目立っています。黒字化するために手間を惜しこと結果、安全性や作業効率を犠牲にするようなことはしてはいけないと考えています。「この単価で、よくここまで良い仕事が出来たな！」とお客様に評価されることが会社の信頼になります。そのための知恵を絞り工夫することが我々職人の腕の見せ所だと思っています。その工夫の中でも機械選びは特に重要なところですね。解体工法や安全管理はどこでも同じようなレベルかもしれません、解体機械=道具選びは、現場コストに大きな差が付くんですから重要ですよね。

一例として、SAKATO の小割機マグナム800 (6~13トン兼用機) の現場でのメリットをお話しします。

SAKATO の小割機は創業当初から使い続けていますが、その理由の一つとして挙げられるのが兼用機のラインナップの多さです。マグナム800は、6トンと13トンクラスの兼用機種ですが、これが当社が多く手掛ける千葉市の市街地に多い、狭小の階上現場で非常に重宝しています。

そこでは、6トンと13トンクラスのショベルを各1台揚重するような現場が多いです。従来は6トンと13トンクラスの大割機各1台に対して、小割機はそれぞれ各1台の計2台を上げるパターンが多かつたですが、マグナム800であれば1台で済みます。

ただでさえ狭い現場内に小割機1台を増やすとなると場所の確保や移動の手間が増えてしまうが兼用機はこれを解消してくれます。当然のことながら小割機を別の現場で1台余分に使えるので、機械稼働率の向上やレンタル等の追加費用の削減にもつながります。兼用という面は単純な部分ではあります、実際に施工現場が重なったり台数が足りなくてレンタルを借りたりしていた頃を思い返してみると非常に大きなメリットです。特に当社のような少数精鋭の会社が最小限の道具で最大限の仕事を出来るようにするには、絶対に欠かせない要素だと思っています。



「6トンと13トンクラスバックホーを揚重する狭小現場での使い勝手が魅力」

次の魅力は重量の軽さです。今では市街地の階上解体では後方小旋回仕様のショベルが主流ですが、その分アタッチメントの重量バランスにこれまで以上に気を使うようになりました。特に階上の場合は尚更です。後方小旋回のどのサイズのバックホーに乗っていても、「アタッチメントがもう少し軽いほうが仕事しやすいし、安心だな」という思いを持っていました。このマグナム800は重量800キロなので13トンクラス小旋回仕様に装着した際の重量バランスが非常に軽く、階上でも安心して使えます。実はSAKATOの13トンクラス専用小割機の、



マグナム1200も使用していますが、階上現場ではあえてマグナム800を使用することが多いですね。その理由を具体的に作業内容で説明しましょう。小割作業以外にもガラや鉄筋の移動、鉄筋のまとめ作業、現場内の整理や鉄板移動、また壁倒しの際の相番作業等では、小割機で重量物を持ち上げたり、こまめに旋回したりするわけです。そういう時に小割性能と同時に、重量が400キロも軽いということがメリットになり、使い回しが良くなるのです。特に狭小の階上現場ではこれらを全て1台でやらなければならぬのですから、なおさらなのです。後方小旋回仕様に装着しても重量バランスに対して非常に安心できるマグナム800はこうした現場で重宝するのです。

また、13トンクラスの階上解体現場といつても、いろいろなパターンの現場があります。

この現場でどの解体機を使おうかな、と選択する際に、「大きくて少し重いが、力がある解体機」なのか、「小さくても、軽くて使い回しが良い解体機」のどちらがいいのか、を考えています。これが大割機の選定ならば前者を優先することも多々ありますが、しかし小割機の場合は、ほとんど後者を優先します。

階上解体における小割機には様々な仕事が求められるので使い回しの良さ、つまり「軽さ」が重要であるということが一番の理由です。しかし、「軽さ」といいながらも、肝心の小割性能を著しく犠牲にしたくはないのです。このジレンマを抱えながらも、選択しなくてはならない。その場合どうするかというと、私は「大割機のサイズ」を基準に考えます。例えば大割を20トンクラス大割機でやる場合には、マグナム800ではなく13トンクラス専用のマグナム1200を優先して選択します。



「現場状況に応じた小割機の選定が色々な効果を生んでいる！」

理由は簡単で、20トンクラスで割ったガラは大きいですから、マグナム800では物足りないでしょう。しかし大割作業を13トンクラス大割機でやる場合には違います。

13トンクラス大割機で割ったガラのサイズは300ミリ前後くらいでしょうから、この場合にはマグナム1200よりもマグナム800を優先して選択しています。

マグナム800は13トンクラスで割ったガラを、十分に処理できる破碎力があり、また1200よりも速いですからね。

つまり、小割機について「大は小を兼ねる」という考え方ではなく正しくないと思います。これは実際の現場経験でわかっていることなのですが、実はこういうところで現場の作業に差がついているんです。

わざわざ重量の重いマグナム1200を使うよりも安全で、1台でこなすべき仕事が多い階上解体の場合では、全体の仕事のペースはマグナム800の方が速いのです。さらに「軽い」のでオペレーターの疲労もかなり軽減できるという、大きなメリットもあつたりするんですよ。

写真の現場では13トンクラスの大割機2台に対して、マグナム800が1台で対応し、軽さを活かして機敏に動きながら、多くの種類の作業に対応しています。ショベル台数が少ない狭小現場では特に効果が発揮されますね。安くてもいい仕事をして信頼がほしいので、大割機のサイズ、ショベルの台数、考慮すべき安全性レベル等を総合的に踏まえたうえで、最も適した小割機を選んでいるんです。

そもそも、「良い小割機とは何か?」と考えたときに、「速さ」と「軽さ」だとよく言われます。

軽さ、速さに関してはどのメーカーも売りにしていると思いますが、「丈夫さ」に関しはどうでしょうか?

速さを重視して油圧系統に無理な負担がかかったり、軽さを重視して強度が弱くなったり、長年使い続ける道具としては、この丈夫さに対してどうしても不安が多いのです。

「丈夫さ」というのが、経営者にはとても重要な条件なのです。この不安を解消してくれるのはやはり SAKATO のパクラです。今回のマグナム800も13トンクラスに装着して使用することが殆どですが、これまで特別な破損修理も一切無いです。現場で求められる性能と経営者が求めるランニングコストの低さ、この両面を満たしてくれていると思います。



PACLER MAGNUM 800

パクラー・マグナム 800

PACLER MAGNUM(パクラー・マグナム)は本製品モデルの名称であり、株坂戸工作所の登録商標です。



12トン用を軽量化し6トンクラス兼用に！

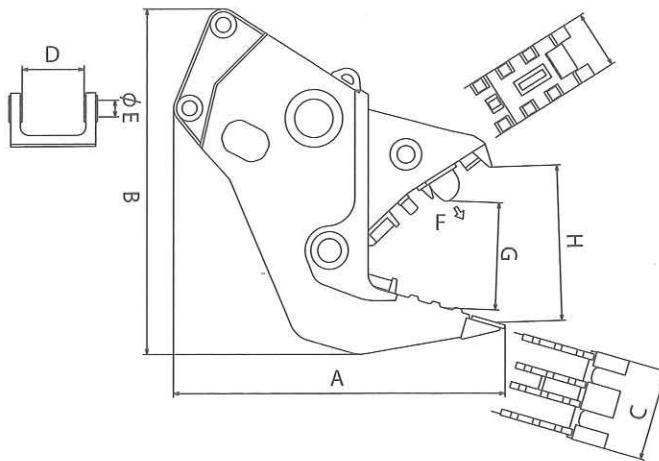
軽さとスピードが安全で速い現場を実現！

つまり、利益が変わります

<http://www.w-tokyo.co.jp>

PACLER MAGNUM 800 仕様

PACLER MAGNUM		800
適合ショベル	tons	6~12
質量	kg	800
A)全長	mm	1432
B)全高	mm	1457
C)全幅	mm	430
D) ブラケット内幅	mm	276
E) ブラケットボス径	φ/mm	80
F) 破碎力	tons	40
G) FB部開口幅	mm	440
H) 先端部開口幅	mm	596
設定圧力	kgf/cm ²	280



ここが違う、SAKATOのこだわり1

12tクラス用を軽量化し、6tクラスとの兼用を実現！

SAKATO独自の軽量化技術により、12tクラス級小割機を6tクラスで使用可能に
したこと、6tクラス小割機の約150%アップの作業処理量を実現しています。

ここが違う、SAKATOのこだわり2

6tクラス/12tクラス兼用ならではの性能

2クラス兼用ですから稼働率は大幅に向かう可能です。12tクラスに装着すれば、
破碎力はもちろんのこと、さらに12tクラス小割機以上の驚異的なスピードが
得られます。6tクラスに装着すれば、12tクラスレベルの破碎力が得られます。

SAKATO

<http://www.sakato.jp>
info@sakato.jp

<製造元> 株式会社坂戸工作所

本社・工場 〒262-0012 千葉市花見川区千種町314番地
TEL(043)259-0131 FAX(043)257-5369

<販売元> 株式会社サカト商工

本 社 〒262-0012 千葉市花見川区千種町314番地
TEL(043)286-5400 FAX(043)286-4187

お問い合わせは